

第7回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日 時 2016年7月28日(火) 16:00~17:00

場 所 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. 改訂中長期ロードマップについて

資源エネルギー庁より、改訂された中長期ロードマップの概要について説明があった。

2. 固体廃棄物対策の進め方

NDF事務局より、固体廃棄物対策の進め方等について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 2021年頃までを目途に処理・処分方策とその安全性に関する技術的見通しをまとめていく上で、ロードマップ上では、初号機の燃料デブリ取り出しが2021年内であるため、インベントリ評価で実際に測定できる範囲が限られる恐れがある。処理・処分方策を考えていく際に最低限測っておく必要のある場所について、早めのサンプリング計画の策定が大事である。
- 2017年の基本的な考え方に、限定再利用のような考え方も入れていかないといけない。規制庁も限定再利用についての考え方の整理に着手しているということもあり、早い段階からそれらを含めた検討に入っていくべきである。
- 得られてきたデータは、どこかで一元的に管理しておく必要がある。研究開発においても、技術カタログと言ったものを整備したら、IRIDがそれをきちんと管理して関係者で共有できるように、役割分担のところではっきりさせるべきである。

3. 固体廃棄物特性評価のための分析数に関する検討

NDF事務局より、固体廃棄物特性評価のための分析数に関する検討について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 分析の標準化という点について、どこかの時点でクロスチェック分析のような形で信頼性の確保が必要になる。民間企業や海外も含めた検討を是非進めるべきである。

4. その他議題

- 次回廃棄物対策専門委員会について

以 上